

平成24年度 学校運営評価の報告

この1年間、東新潟特別支援学校の教育活動に多大なご支援・ご協力をたまわり、心から感謝申し上げます。お陰様で、年度当初から計画していた教育活動を、とどこおりなく実施することができました。

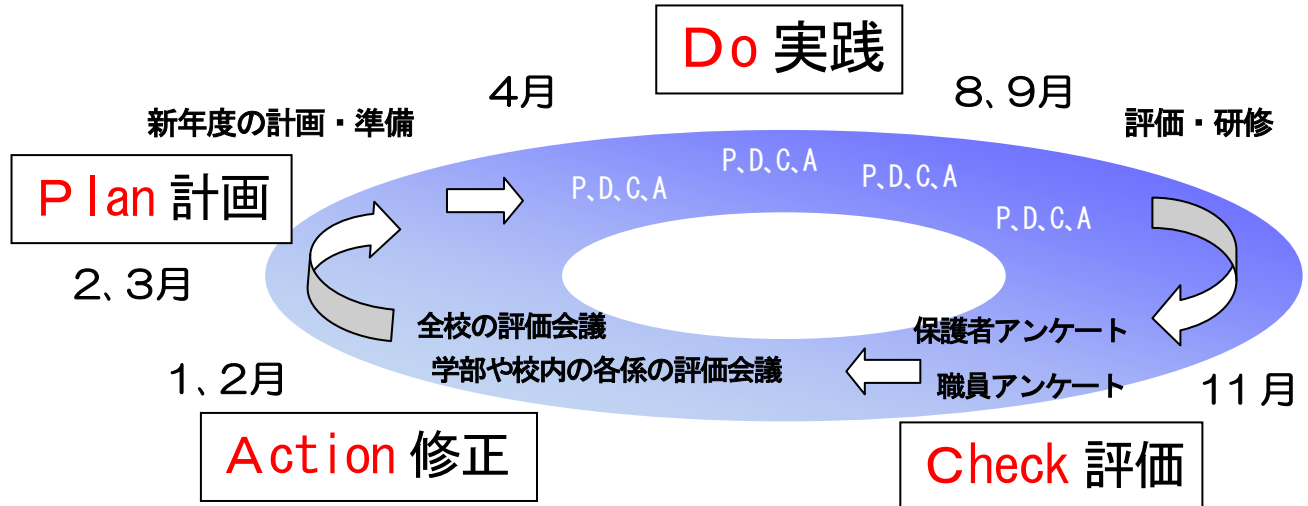
平成24年度の当校学校運営評価のまとめができあがりましたので、慎んでご報告いたします。是非、ご高覧いただき、東新潟特別支援学校の学校運営や教育活動に、ご助言・ご指導いただけましたら、幸いです。よろしくお願いいたします。

県立東新潟特別支援学校長 青木 仁

東新潟特別支援学校のPDCAサイクル

- Plan** : 課題を明らかにし、計画を立てます。
- Do** : 計画に基づき実践を進めます。
- Check** : 実践が計画通りか評価します。
- Action** : 計画に合わなかったり、新しい取り組みが必要なところを、修正、改善します。

各学級では、年間を通じて小さなPDCAを繰り返しながら、また、教育課程のような課題は複数年の長いスパンで仕事を進めています。



本年度も年度当初の計画に基づき、学校運営評価を行いました。

- 1 保護者アンケートと職員アンケートの結果を対比し、職員で検討しました。
その後、PTA 役員や学校評議員の方々からご意見をいただきました。
- 2 職員が学校運営評価会議で検討し、来年度の学校課題に反映させました。
以下に資料を載せましたのでご覧ください。

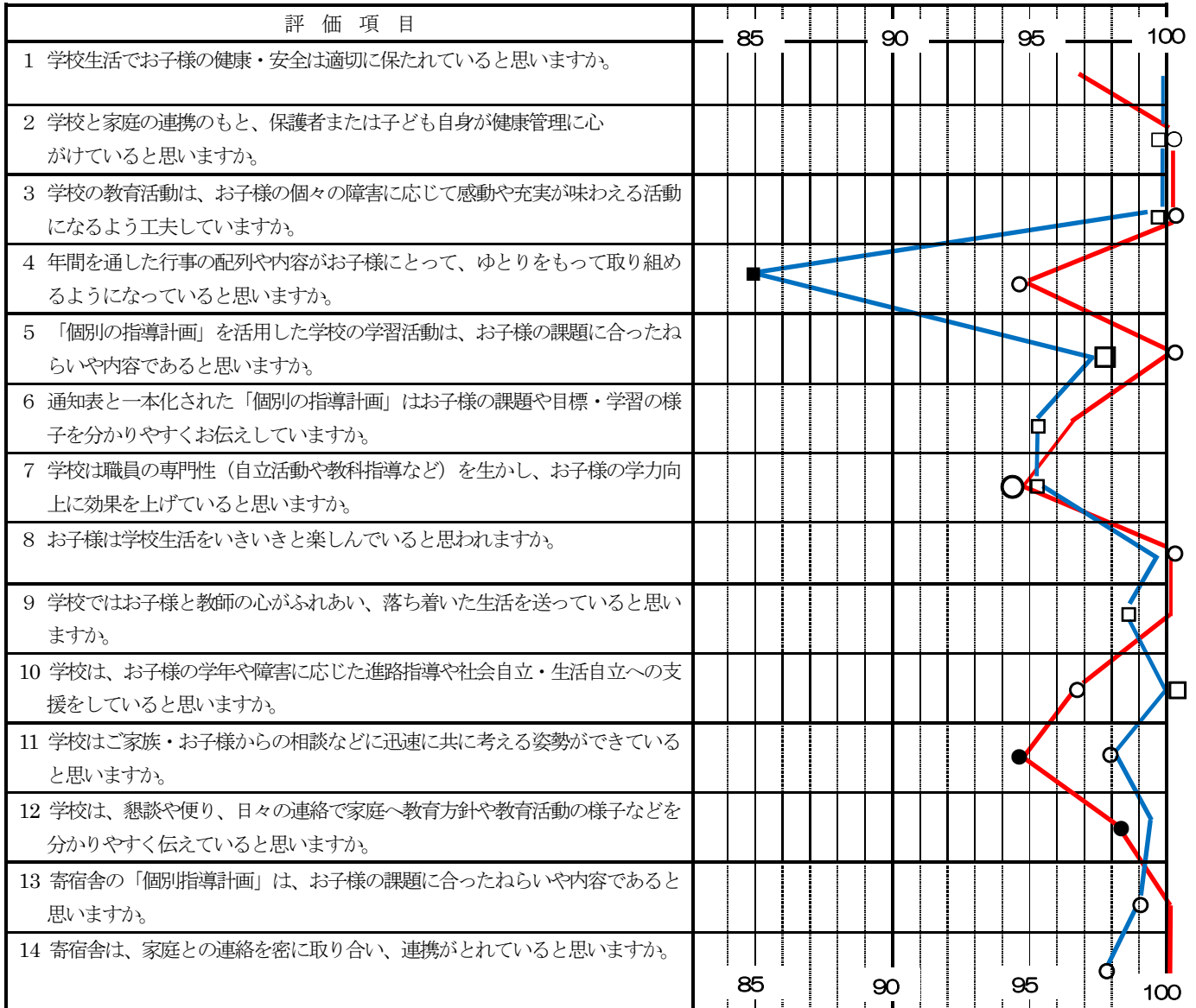
平成 24 年度 学校評価の概要

今年度、保護者の皆様にご協力をいただいたアンケートの結果をまとめ、職員と比較しました。記述部分も一部掲載しましたのでご覧ください。

学校評価アンケート **A そう思う + B どちらかといえばそう思う** の割合(%)

保護者 ○—○ 57名
職員 □—□ 124名

23年度より ○□: ~5% ↑ ○□:5%以上 ↑ ●■: ~5% ↓ ●■:5%以上 ↓ 無印:変化なし



【グラフから読み取れる特徴的傾向】

□保護者評価の傾向

- ・今年度は、14項目全てで「A:そう思う」「B:どちらかといえばそう思う」という肯定的な評価の割合が94%以上と、高い割合となりました。
- ・7項目は昨年より高く、特に「7 職員の専門性」の項目で5%以上の伸びが見られた他、「2 健康管理」「5 指導計画を活用した学習活動」「8 学校生活を楽しんでいる」「10 進路、自立への支援」の項目でも数値の伸びが見られます。
- ・半数の7項目が100%でした。特に「9 落ち着いた生活」の項目では、2年連続の100%となっています。
- ・寄宿舎の項目では、昨年が続いて回答いただいた方(寄宿舎利用の方)から100%の評価をいただき、取り組みを評価していただいていることを嬉しく思います。学校との連携を図りながら寄宿舎運営に努めます。

□職員評価の傾向

- ・14項目中12項目で昨年より高い評価となりました。
- ・「4 ゆとり」の項目は、昨年同様最下位となっており、数値的にも昨を下回る結果となりました。特に、小学部、高等部で他の項目に比べて著しく低くなっています。
- ・「7 専門性」の項目では、保護者同様、職員も割合が伸びていますが、14項目の中では二番目に低い評価となっています。

□保護者－職員の比較

- ・「4 ゆとり」の項目は、例年、職員評価では一番低い値となっており、保護者でも下位のグループです。
- ・職員に比べ保護者の評価が低い項目は、「1 健康安全」「7 専門性」「10 進路、自立への支援」「11 ともに考える姿勢」「12 分りやすい伝達」の5項目です。「10 進路、自立への支援」では、昨年よりも伸びていますが、「11 ともに考える姿勢」では低下しています。
- ・保護者よりも職員が低い割合となっているのが、「4 ゆとり」の項目であり、昨年度以上に保護者との差が広がっています。

- 学校評価アンケートから、保護者の皆様は『子どもたちは、「個別の指導計画」を活用した、ねらいや課題に合った、感動や充実が味わえる学習活動をしており、教師と心がふれあい、学校生活を楽しんでいる』というよい評価をしていただいています。一方で、『専門性を生かした支援や相談などに迅速にともに考える姿勢』を期待したいとの思いが伺えます。「職員の専門性」の数値の伸びについては、校内外での研修が、日々子どもたちへの支援に活かされつつあると評価していただいているようで嬉しい限りです。が、14項目の中では一番低い項目となっており、更に研鑽を積んでいきたいと思えます。